

令和4年度第2回

登別市教育委員会会議録

日 時 令和4年5月26日（木）午後4時30分

場 所 登別市民会館 小会議室

## 第2回 教育委員会議事日程

1 日 時 令和4年5月26日(木) 午後4時30分

2 場 所 登別市民会館 小会議室

### 3 議 案

議案第1号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第2号 登別市社会教育委員の委嘱について

議案第3号 登別市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第4号 登別市立図書館協議会委員の任命について

### 4 情報提供

(1) 携帯電話やスマートフォン等のアンケート調査分析結果について

(2) 令和3年度巡回パトロール活動及び該当指導等状況について

(3) 令和3年度不審者等出没状況調書について

### 5 出席者

(教育委員会4名)

教育長	武田 博	委 員	赤井 秀輝
委 員	堅田 裕	委 員	上村 正人

(事務局12名)

教育部長	堀井 貴之	教育部参与	中島 英治
教育部次長	館下 貴子	総務グループ総括主幹	近間 聡史
建築主幹	南雲 宏明	学校教育グループ総括主幹	西川原 邦彦
学務主幹	中井 英和	学校給食センター長	高橋 努
社会教育グループ総括主幹	古村 健	文化・文化財主幹	菅野 修広
図書館長	綿貫 亨	総務グループ主査	蓬田 匡俊

**武田教育長**：ただいまの出席委員は4名であります。定足数に達しておりますので、令和4年度第2回教育委員会を開会いたします。

本日の議事については、議案4件となっております。

最初に、議案第1号「登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」を議題といたします。

事務局からの説明をお願いします。

**高橋学校給食センター長**：議案第1号「登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」ご説明いたします。

登別市学校給食センター運営委員会は、登別市学校給食センター条例第5条の規定により、教育関係者や学識経験者を有する各団体からの推薦を受けた10名の委員で構成されております。

この度、推薦団体の一つであります登別市学校給食協議会の役員に変更があり、「佐藤 直子」氏の後任として「佐伯 綾子」氏の推薦がありましたので、後任委員として委嘱したく、教育委員会の議決を求めるものです。

なお、委嘱期間は前任の残任期間であります令和4年11月30日までとなっております。ご審議のほど、よろしくをお願いします。

**武田教育長**：ただ今、議案第1号について、説明がありました。ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり。)

**武田教育長**：これをもって質疑を終わります。この件について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**武田教育長**：異議ないものと認めます。したがって、議案第1号について、原案のとおり決しました。

次に、議案第2号「登別市社会教育委員の委嘱について」を議題とします。

事務局からの説明をお願いします。

**古村社会教育グループ総括主幹**：議案第2号「登別市社会教育委員の委嘱について」ご説明いたします。

資料の2ページをお開きください。

登別市社会教育委員につきまして、令和4年5月31日をもって任期満了となるため、登別市社会教育委員に関する条例により、12名の委員の委嘱を行うものがあります。

うち、9名が再任、3名が新規となっております。

なお、委員は、関係団体からの推薦によるもののほか、市内で様々な活動を行っている団体から候補となる方の情報をいただくなどし、本人に意向を確認のうえで、選出しております。

任期につきましては、令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間でございます。

詳細につきましては、3ページの議案第2号資料のとおりとなっております。

以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

**武田教育長：**ただ今、議案第2号について、説明がありました。ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり。)

**武田教育長：**これをもって質疑を終わります。この件について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**武田教育長：**異議ないものと認めます。したがって、議案第2号について、原案のとおり決しました。

次に、議案第3号「登別市スポーツ推進委員の委嘱について」を議題とします。

事務局からの説明をお願いします。

**古村社会教育グループ総括主幹：**議案第3号「登別市スポーツ推進委員の委嘱について」ご説明します。

資料の4ページをお開きください。

登別市スポーツ推進委員につきまして、15名のうち1名が急逝し、欠員が生じたこと、また、6名が令和4年5月31日をもって任期満了となることから、スポーツ基本法及び登別市スポーツ推進委員会設置条例の規定により、7名の委員の委嘱を行うものであり、うち6名が再任、1名が新規となっております。

なお、新規の「小野 純子」氏は、先に急逝されたスポーツ推進委員「佐々木 則昭」氏と同様、登別市スポーツ協会から推薦された方です。

任期は、令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間となります。  
詳細は5ページの議案第3号資料のとおりです。  
以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

**武田教育長**：ただ今、議案第3号について、説明がありました。ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり。)

**武田教育長**：これをもって質疑を終わります。この件について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**武田教育長**：異議ないものと認めます。したがって、議案第3号について、原案のとおり決しました。

次に、議案第4号「登別市立図書館協議会委員の任命について」を議題とします。  
事務局からの説明をお願いします。

**綿貫図書館長**：議案第4号「登別市立図書館協議会委員の任命について」ご説明します。資料の6ページをご覧ください。

登別市立図書館協議会委員につきましては、令和4年5月31日をもって任期満了になることから、図書館法第15条および登別市立図書館条例第7条から第9条までの規定に基づき、委員の任命をするものであります。

委員の内訳としましては、5名のうち、再任が4名、新任が1名となっております。新任の「原 美紀」氏は、前登別市学校司書であります。

任期は、令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間です。

詳細は、6ページの議案第4号資料のとおりです。

以上、ご審議のほどよろしく申し上げます。

**武田教育長**：ただ今、議案第4号について、説明がありました。ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり。)

武田教育長：これをもって質疑を終わります。この件について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

武田教育長：異議ないものと認めます。したがって、議案第4号について、原案のとおり決しました。

以上で本日の議事は全て終了しました。

次に、事務局から情報提供をお願いします。

中島参与：(1)「携帯電話やスマートフォン等のアンケート調査分析結果について」情報提供いたします。対象は市内小中学校小4以上の児童生徒です。

資料の1ページをご覧ください。「スマホ所持率」は、集団の経緯、3年間の比較、ともに年々増加しています。小6で50%、中1で75%、中3で90%に迫る勢いです。

また、SNSの利用が年々増加する傾向にあります。正しい利用方法や危険性について、早い段階で指導する必要性を強く感じます。

2ページ「使用状況」をご覧ください。中学校に進学すると遅い時間まで使用している生徒が急増することから、特に中学校入学時、遅くとも1学期のうちに指導を徹底する必要があります。「使用時刻」も学年が上がるにつれて、遅くまで使用する傾向にあります。就寝時刻や生活リズムが学業や健康に及ぼす影響など、指導を継続する必要があります。

3ページ「家庭のルール」、4ページ「及ぼす影響」も同様の傾向です。学年が上がるにつれて、ルールがない家庭、トラブルあり、生活リズムの崩れ、勉強がおろそか、全て増加する傾向にあります。家庭のルールがないことから、夜遅くまで使用することもでき、それによって生活リズムも崩れ、勉強がおろそかになる。これらは全て連動していると言えます。

学校は精一杯、考えられる限りの指導をしています。例えば、室蘭警察署や各携帯電話会社、NPO法人の講師を招くなどして、情報モラル教育に関する授業や講演を行っています。引き続き児童生徒への指導を徹底することはもちろんですが、それ以上に家庭への啓発が大きな課題です。しかし、有効な決定打、特効薬はなかなか見当たりません。もし、委員の皆様によいお知恵がありましたら、教えてください。よろしくお願いします。

古村社会教育グループ総括主幹：(2)「令和3年度巡回パトロール活動及び街頭指導等状況について」情報提供いたします。別冊資料の1ページをお開きください。

上の表は青少年センターにおける令和3年度の市内巡回パトロール実施状況になります。専任指導員による通常巡回のほか特別巡回を実施しており、合計は延べ739回、1,066人で実施しております。

下の表は過去5年間の実績状況です。

令和3年度は20人に指導を行っており、令和2年度から58人の減となっております。

減少の主な要因といたしましては、祭典が開催されなかったことや、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言の発出により、青少年指導員の巡回回数が、令和2年度の1,183回から、739回となったことなどが影響したものと考えております。

詳細については、後程ご覧いただければと思います。

**古村社会教育グループ総括主幹：**（3）「令和3年度 不審者等出没状況について」情報提供いたします。別冊資料の3ページをお開きください。

令和3年度の不審者等出没状況の集計となります。

青少年センターに通報のあった市内における不審者の出没件数は14件で、令和2年度が17件であったことから3件の減少となっております。

発生町名別では、富士町が3件と最も多く、千歳町・鷺別町が2件となっております。次に4ページをご覧ください。

被害児童生徒で最も多いのが、小学生の女子児童となっております18人、次に小学生の男子児童となっております。

また、不審者等出没時間帯は、7時台と15時台、内容としては、声掛け・付きまとい・盗撮の順に多く、この3区分で約8割を占めております。

詳細については、後程ご覧いただきたいと思っております。

**武田教育長：**情報提供案件について、委員の皆様からご質疑等ございませんか。

**堅田委員：**先月新聞で見たんですけど、2020年から2021年で比較した時に、スマホとかゲームの時間が1時間増えたというデータが出てたと思うんですけど、登別市ではその辺はどうなんですか。

**中島参与：**全国学力学習状況調査の記事でしょうか。

**堅田委員：**先日新聞で見たんですけど、そういう記事を見かけたんですよ。傾向としては、コロナで伸びたんならうなというのはわかるのですが、登別市もその傾向に乗っかっているんですよというところです。

**中井学校教育グループ学務主幹：**その件については、先ほど中島参与からもあったように、全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙というのがあって、同じような項目で、子どもたちに質問しているものがあります。

2020年と2021年の傾向を見ると、やはり登別市全体としても、テレビだけではなくて、DVDとか、パソコンを含めたメディア視聴については、残念ながら小中ともに長くなっています。

それが、先ほどお話しがあったコロナもひとつの要因かなと推測はしているんですけど、それ以外に、先ほどのスマホ調査の感じから、手元にすぐあるという状況もあると思いますし、複数の要因がありますけども、やはり伸びたなというのがあります。

**武田教育長：**そのほかにございませんか。

**赤井委員：**パトロールや不審者の情報など、家庭への周知の仕方というのは、こういうものがそのままいくわけではないんですよ。どうやったら伝わるといふか、伝わるようにしているのか。

**古村社会教育グループ総括主幹：**現在は、内容にもよりますが、市の一斉メール配信システムというのがございまして、登録されている方に配信される形にはなっているのですが、登録していないとなかなか見れないというところと、自分から拾いに行かないと見に行けないというところもございしますので、それが広く伝わるようなものを検討していかなければならないかなと考えております。

内容によっては、児童生徒の方にもお伝えいただいているので、今のところは、つきまといとかカメラを向けられたという話なんですけれども、犯罪に繋がるようなものであれば、もうちょっと早めに伝えなければいけないかなというところが、懸念しているところです。

**武田教育長：**よろしいでしょうか。

**武田教育長：**今月25日ですか、コロナの国の基本方針が新たにというか、リニューアルというか、そういう形の中で都道府県教育委員会に連絡するという流れになっ

てるんでよね。その辺の動向について、委員の皆様には知っていただければと思います。

**中島参与：**特にマスクの着用について、政府の基本的対処方針の中で、しっかりと明記をされていた部分かと思えますけども、元々文科省の「学校衛生管理マニュアル」がございまして、こちらには2年ほど前から、教育活動においてマスク着用が不要な場面がしっかりと示されていたのですが、これから夏本番に向けて、熱中症のリスクが高まることであるとか、政府の基本的対処方針の中にしっかりと明記されたことを受けまして、改めて徹底を図るために文科省から周知が出されています。

マスク着用の必要がない場面というのが、屋内で2 m以上の身体的距離が確保できて、会話をほとんど行わない場面、外で身体的距離が確保できる場面、例えばランニングや鬼ごっこ、密にならない遊びなどの場面、屋外で身体的距離が確保できないが、会話がほとんどない場面、この3つぐらいが挙げられていたんですよ。

特に、屋外の場面に関しては、登下校時にはマスクを外すなどして、熱中症対策を優先して指導しなさいと、特に小学生は自己判断でマスクを外すことが難しいため、教員が登下校時に積極的に呼び掛けましょうと要請された内容などが、改めて周知されたところですよ。さらに、体育の授業や、中学校の部活動でもマスク着用の必要はないことを改めて周知したものです。

この2年間で感染状況は落ちついておりませんので、この間も教員が臨機応変に対応してきたんですよ。例えば、マスクを登下校中に外しても良いよと言っても、子どもたちは縦一列になって、何もしゃべらずに黙々と歩く児童生徒はほとんどいませんよね。だいたい横に並んでおしゃべりしながら帰ってますので、登下校中はマスクをしなさいと指導してきました。さらに、体育の授業でランニングしていたり、鬼ごっこをしたりしているばかりではありませんので、集合をしたり、話をしたりする場面では必ずマスクを着用しなさいとしていましたけど、児童生徒の感染者がぐっと減るという感じはしていませんので、今後もこれらの対応は続けていくのかなと思っております。

**武田教育長：**情報提供については、終了いたしますが、教育委員会の活動として、統廃合だとか適正配置の関係で、地区との懇談会を進めているので、その動向を少しお聞きしたいなと思います。

簡単に、今の動きだけ委員の皆さんに説明をお願いいたします。

**近間総務グループ総括主幹：**昨年公表したグランドデザインの中で、令和7年度までに統合を想定した幌別東小学校と登別中学校のうち、東小学校については、今年の3月に令和7年4月1日に幌別小学校と統合するというのを教育委員会として決

定しまして、統合すること自体は決定したんですけども、統合にあたっての細かな状況ですとか、そういったところを継続的に協議ということになっておりましたので、先週の金曜日、5月20日になりますけども、今度は、統合が決まってからの新しい幌別小学校の話になりますので、幌別小学校と東小学校の両校の関係者に参加いただきまして、学校統合委員会という新たな委員会を設置いたしまして、1回目の会議を行いました。

今後、この委員会の下に、東小学校区の検討部会という部会と、新校区の検討部会という2つの部会を設けまして、東小学校区の検討部会の方では、現東小学校区から幌別小学校区への通学路ですとか、登下校の際の踏切への対応、それから統合によって、新たに徒歩通学困難地域となる地区が出てきますので、そういった地域に対する通学費補助の在り方など、東小学校区に関係する部分のみを、この部会では検討します。

新校区検討部会の方では、統合に際しての事前の交流事業の内容ですとか、あるいは東小学校でこれまで取り組まれていた駒踊りをどのようにしていくのかというような、新校区に関わる部分を新校区検討部会では検討していくところでございます。概ね今年度中には、そういった詳細の部分をまとめたいと考えております。

それから登別中学校につきましては、昨年10月に地区別検討委員会という委員会が保護者の皆様、地域住民有志の皆様によって設けられまして、この委員会において、今後の登別中学校の在り方ですとか、幌別中学校との統合の是非について、検討が行われてきたんですけど、教育委員会としては、教育環境の部分で議論をいただきたいという思いがあるのですが、中学校はまちづくりの中でも中心的な役割を担っているということで、まちづくりからの議論というのが非常に多く、当然、地域の皆様が気にするところでございますので、教育委員会といたしましても、教育環境部分からとまちづくりの部分の両面から検討を行っていきましようということで、この委員会の下に、教育環境部会という部会と、まちづくり部会という2つの部会を設けまして、それぞれ教育環境の側面から、それからまちづくりの側面から分けて議論を行っていかうということで、先月、4月からそれぞれの部会における議論が始まったところです。

概ね、この部会における議論を9月までに終えまして、それぞれの側面から統合の是非について、部会として議論を尽くした上で、その部会での結論を地区別検討委員会の方に持ち寄って、今年度中には、地区別検討委員会としての統合の是非をまとめるという方向性で動いています。

**武田教育長：**統合に関する取組状況について説明いただきましたが、委員の皆様から何かございませんか。

武田教育長：先ほど事務局の方で、物価高騰による給食費への影響を心配されていたんですね、簡単に説明をお願いしたいのですが。

高橋学校給食センター長：物価高騰に伴う学校給食費への影響を試算をいたしまして、本日、協議をしてきたところであります。本件については、6月開催の第2回登別市議会定例会において、補正予算を上程させていただく予定です。

武田教育長：これは、物価高騰に伴う経済対策の国の交付金を活用しているということですね。

高橋学校給食センター長：はい。

赤井委員：テレビでやっていましたよね。

高橋学校給食センター長：函館市は、市の財源で物価高騰分を見るというニュースが流れていました。

武田教育長：函館市は、交付金を別の使途で使うということですね。それぞれの自治体の事情があるでしょうから。

赤井委員：消費税が値上がりした時に、当時のセンター長の時に給食費の値上げをやったんですね。あのときもさらに2%上がったら、私はどうするのかなど思っていたんですけど、結局、今回は物価がこういう形で上がってきて、やっぱりさらに検討しなければならない時期が来るのかもしれないですね。

堀井部長：高騰の度合いですね。どのぐらい続くのか、それから来年度に向けて、国の方でこういう制度を続けていくのかということがございますので、もう少し給食費の値上げについては、様子を見たいと思っております。

武田教育長：他にございませんか。

上村委員：スマホの依存症の件だったんですけど、スマホの依存症が子どもたちの学力低下だとか、私生活のレベルの低下だとか、そういうデータがあると思うんですけども、自分が子どもだった時、幼稚園の年長か小学校1年生ぐらいの時に、ファミコンが世の中に出て、同じようなアンケートを自分も小学校の時にやった覚えがあります。

こういうファミコンが子どもの学力の低下に繋がるというようなデータがその当時からあったと思うんですけど、その当時、自分たちの親世代は、ゲームをやったことがなくて、自分らがゲームをやったことが無いから、子どもに注意しやすい環境があったと思うんですが、今の我々子育て世代の親は、親自体がゲームだとかスマホに依存している状況で、この依存している親が子どもに注意をしても、言うことを聞くわけもなく、子どもをいくら教育しても、親を教育したり、子どもを教育しても「親がやっているからいいじゃん」と、親自身は「私はこれで犯罪をすることは無いし、必ずしもこれが悪いと思わない」という方が大多数いると思うので、やっぱり別に考えていくのかなと思って、道德の授業を増やすとかしながら、イタチごっこになってしまうと思うので、別に考える必要があるんじゃないかなと思いました。

**中島参与：**今、委員がおっしゃられた方たちは、デジタルネイティブ世代と言われますよね。生まれた時からインターネットに接している世代が親になって、その親がどういうふうに子どもに接したらいいのか。生まれたばかりの赤ちゃんからスマホを持たせて、スマホでゲームをやらせている。そのような方が親をしている世代ですから、児童生徒の指導の前に、親への啓発をどうしたらいいのかというものが、本当に悩ましいところです。6年ぐらい前ですか、本市では「携帯・スマホ3つのルール」というものをつくって、それは市教委だけではなく、校長会そして市P連を巻き込んで、親にも一緒に考えてもらいました。それを周知・徹底してきたんですけど、時代もずいぶんたって、当たり前のように学校にも掲示して貼ってありますが、親にも毎年同じ時期に印刷して配布するだけでは、なかなか難しいなと思っています。

道教委の方からも通知があるんですけども、道産子アウトメディアプロジェクトといいまして、親も子どももインターネット機器に触らないような、電子メディアから手を離そうという日を月に2回、第1、第3日曜日に取り組んでおりまして、学校だよりで周知・啓発もしていますが、なかなか浸透していきません。デジタルネイティブの親世代をどういうふうに振り向かせるかというのも、課題かなと思っています。

**武田教育長：**粘り強く継続していくと。

**中島参与：**当初、携帯電話と言われていた時代は、連絡手段だったのが、今、スマートフォンの時代になり、新聞を取っているご家庭も少なくなっていて、スマホでニュースを見る家庭も多くなっています。

スマホで何でもできる時代で、決済もできる訳で、買い物もできるし、ゲームもできる。そうなったらスマホに向かっている時間というのが、親も子もますます増えてくるのかなと思うと、ゾッとします。

**武田教育長**：ありがとうございます。そのほかございますか。

**武田教育長**：なければ、これで情報提供を終わらせていただきます。最後に6月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

**近間総務グループ総括主幹**：定例の教育委員会につきましては、毎月最終木曜日に開催しておりますので、6月については、6月30日木曜日16時30分からと考えております。

**武田教育長**：事務局より提案のありました6月30日木曜日16時30分で皆様のご都合は如何でしょうか。

（「大丈夫です」との声あり）

**武田教育長**：では、決定とさせていただきます。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ願います。

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。